

# オススメ本の紹介

どの道も  
「好きこそ物の上手なれ」が共通項

→コレがオススメ!

『**天地明察**』



角川書店

沖方丁 著  
江戸時代前期に将軍に囲碁を教える安井算哲が、星の観測と算術に興味をもち過去800年にわたり使われてきた暦のズレを修正し新しい暦を作った物語です。  
天体と算術を愛した主人公。好きな事にはおのずと熱中できる点はどの道でも同じではないでしょうか。就職に迷っている人に読んでもらいたい1冊です。



古川 輝雄先生  
工学部 電気システム工学科

テクニックの前に本質を学ぼう

→コレがオススメ!

『**日本語のうまい人は英語もうまい**』



講談社

角行之 著  
SE(システムエンジニア)であった著者の実績から英語に対する取組みを説いている本です。英語はイントネーションも大切だが、伝える気持ち、伝えたいことを明確にすることが重要。これは、海外で通じるための英語学習の本質です。そして、コミュニケーションの本質だと言えます。巧妙洒落な語り口で読みやすいのでお勧めです。



小嶋 弘行先生  
情報学部 知的情報システム学科

世界を動かしたジャガイモの魅力

→コレがオススメ!

『**ジャガイモの世界史**



中央公論新社

―歴史を動かした「貧者のパン」―  
伊藤章治 著  
ジャガイモは、「食べない人はいないのでは?」というほど身近な存在ですが、ジャガイモが世界を救う食物だということは知っていますか? 痩せた、寒い土地でも育ち、世界中で栽培され、栄養価も高いジャガイモ。そんなジャガイモを通してちょっと変わった目線から世界史を見るのはどうでしょう? 食に興味のある人に特にオススメです。



金 凡性先生  
環境学部 地球環境学科

「生かされている」ことに気がつくとき人は「やさしく」なれる

→コレがオススメ!

『**21世紀に生きる君たちへ**』



世界文化社

司馬遼太郎 著  
自然とは「不変」であり、人間にとって「大きな存在」であるという現実。さらに、「人生の目標」として大切な「自己の確立」の意味や重要性などを改めて感じさせられ、ショックを受けました。医療職種だけでなく、誰かのために役に立ちたい、誰かに必要とされたいと感じた時、忘れていた「大切なもの」を再確認させてくれる本です。



前田 康治先生  
生命学部 生体医工学科

食べる物は自分で選べるからこそ知ってほしい

→コレがオススメ!

『**食品の裏側**』



東洋経済新報社

安部司 著  
普段口にしてる食品にどれだけ添加物が含まれているかを知らない人がほとんどでは?? この本は、食品添加物を批判するのではなく、それらのつきあい方が書かれています。安さや便利さには理由がある。気にとめることが少ないであろう成分表示に目をむけ、食品添加物がどういふものか知るきっかけになればと思います。



松浦 崇さん  
電気電子工学専攻

リアリティ溢れる作品で鳥肌が立ちました

→コレがオススメ!

『**空飛ぶ広報室**』



幻冬舎

有川浩 著  
不慮の事故で夢を奪われた主人公が自分自身を見直し、自衛隊広報官として前へ進んでいく物語です。読みやすい文章なので普段読書をしないう方にもオススメです。私の場合は主人公に感情移入しながらあつという間に読み終えていました。また、東日本大震災について自衛隊の立場からの奮闘や苦悩も描かれています。泣きたいときや、自分ではどうしようもない状況に立たされた時に読んでほしいです。



上西 直也さん  
機械システム工学専攻

熟読しなくていい本

→コレがオススメ!

『**ボールのようなことば。**』



東京糸井重里事務所

糸井重里 著  
著者が若い人に届けたい言葉を綴った本です。新入生はもちろん、一大学生が読むと自分と重なる(共感できる)言葉がたっぷりつまっているの、普段本を読まない人でも読みやすいと思います。悩んだとき、ふと思いついたときに適当にパッと開いたところを読んでみて下さい。なにか答えをくれるかもしれません。



木村 実香さん  
環境学専攻

早めにマーケティングに触れるチャンス

→コレがオススメ!

『**コトラーのマーケティング入門**』



ピアソン・エデュケーション

フィリップ・コトラー 著  
学生がマーケティングの知識を持つておくことは重要だと考えます。就職活動の時にも役立つし、社会人になっても、その仕組みや方法論を知っているだけで得をする場面が必ず出てきます。本書は、マーケティングの基礎についてわかりやすく説明されています。まずは、雑学として「知っけばいい!」くらいの気持ちで、気軽に読み飛ばせばいいと思います。



伊藤 敦事務長  
附属図書館 事務長